

# 平成26年度 第2回 愛知県メンテナンス会議

日時：平成26年9月29日（月）15:00～

場所：愛知県自治研修所 8階講堂

## 議 事 次 第

### 1. 議 事

- 1) これまでの取組みについて
  
- 2) 平成26年度道路橋点検計画について
  
- 3) 道路メンテナンス関係研修等について

### 2. 意見交換

## 1) これまでの取組みについて

4月28日 : 愛知県道路メンテナンス会議

○設立総会及び第1回会議

○専門部会の設置

6月26日 : 高速道路を跨ぐ橋梁の維持管理に関する部会

・高速道路会社等による協力・支援、跨道橋の維持管理計画等

8月8日 : 点検部会

○点検計画

・点検対象全体の確認、点検・措置状況の現状と課題の確認

・優先順位の確認

・H26点検計画の策定

○一括発注の検討

・一括発注検討状況 等

高速道路を跨ぐ橋梁の維持管理に関する部会

・跨道橋の点検計画(案)

9月19日 : 定期点検要領説明会

・参加 54/54市町村(約120名)

高速道路を跨ぐ橋梁の維持管理に関する部会

・跨道橋の点検計画(案)の見直し

■ 9月29日 第2回愛知県道路メンテナンス会議

○H26点検計画等

冬 : 第3回愛知県道路メンテナンス会議

○今後の点検計画(H27~H30)

○平成27年度予算への反映

## 2) 平成26年度道路橋点検計画について

○平成26年8月に「点検計画の策定」について、国土交通省から県、政令市、市町村へ依頼し、今回、メンテナンス会議で平成26年度の道路橋点検計画(案)をとりまとめた。

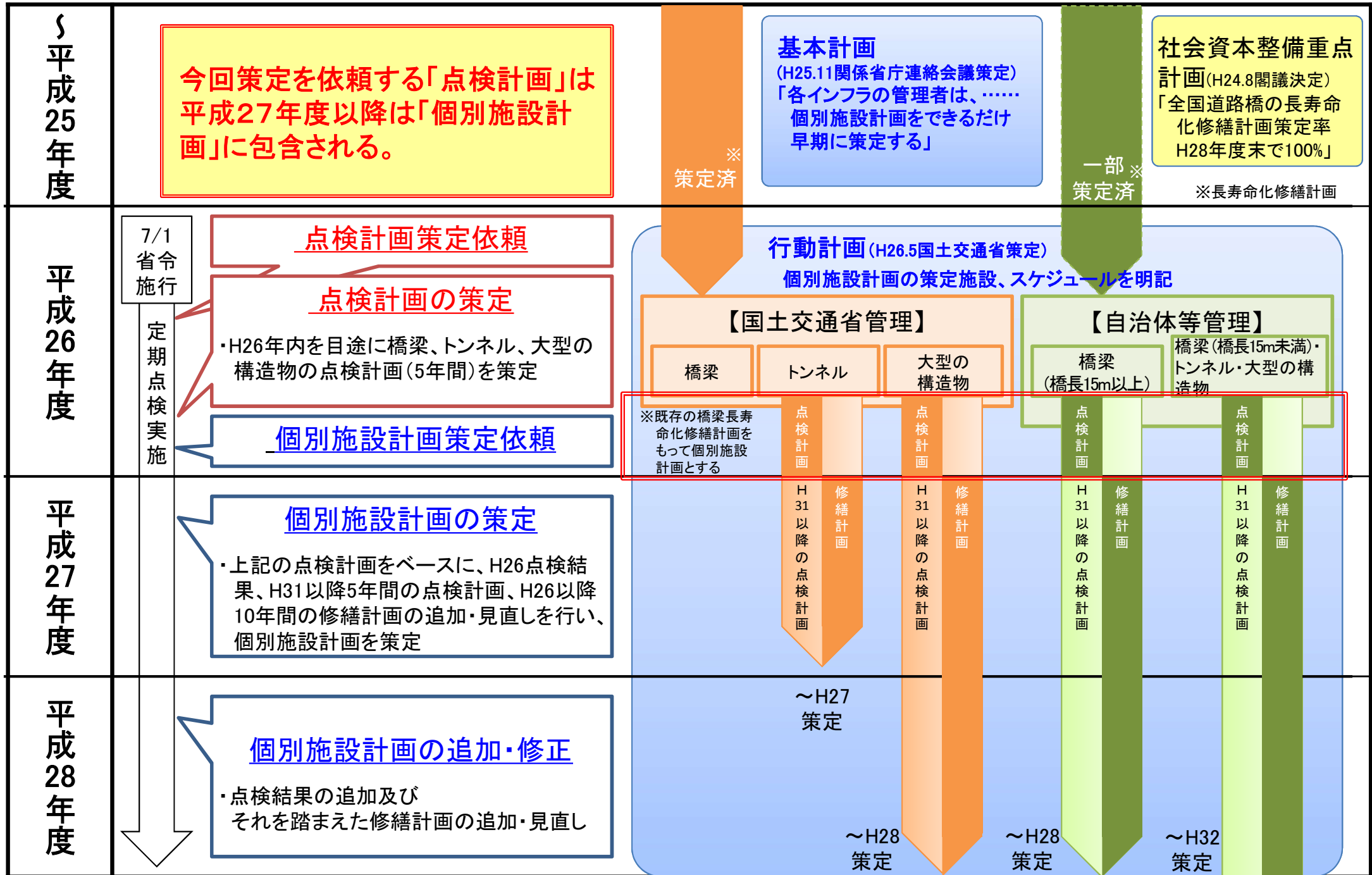
○平成26年度の道路橋点検計画(案)では、市町村管理橋梁約1万7千橋のうち、約1千9百橋(約11%)で法定に基づく5年に1回、近接目視の定期点検に着手。

○なお、市町村支援として一括発注の意向調査を行ったところ、今後一括発注を希望したい市町村が35市町村あり、引き続き平成26年度の一括発注について調整。

○また、高速道路等を跨ぐ跨道橋や鉄道を跨ぐ跨線橋については、点検を優先的に行うこととするが、調整に時間を要することから、メンテナンス会議や整備局が主体となって事業者との調整を実施。

○今後、メンテナンスサイクルを効率的かつ効果的に回していくため、点検計画の平準化を図る必要があり、予算や体制面を考慮した5年間(平成26～H30年度)の点検計画(案)を次回のメンテナンス会議で策定予定。

# 点検計画について



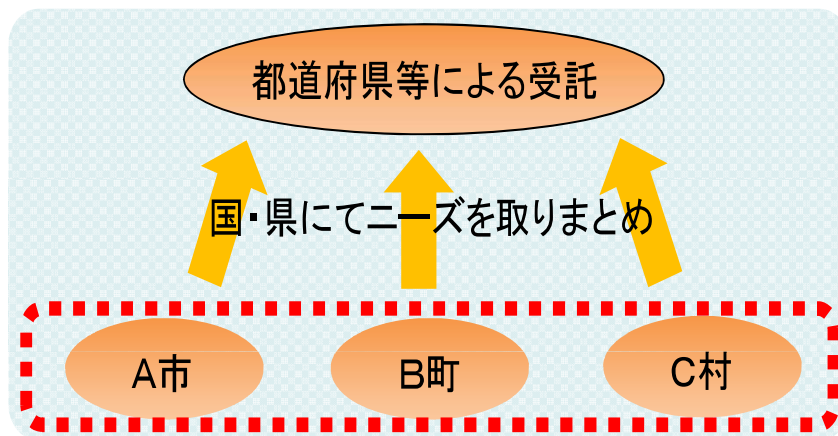
# 道路事業における地域一括発注の取組について

○市町村の人不足・技術力不足を補うために、市町村が実施する点検・診断の発注事務を都道府県等が受委託することで、地域一括発注を実施

※群馬県、奈良県、和歌山県、宮崎県では、平成25年度より地域一括発注を実施

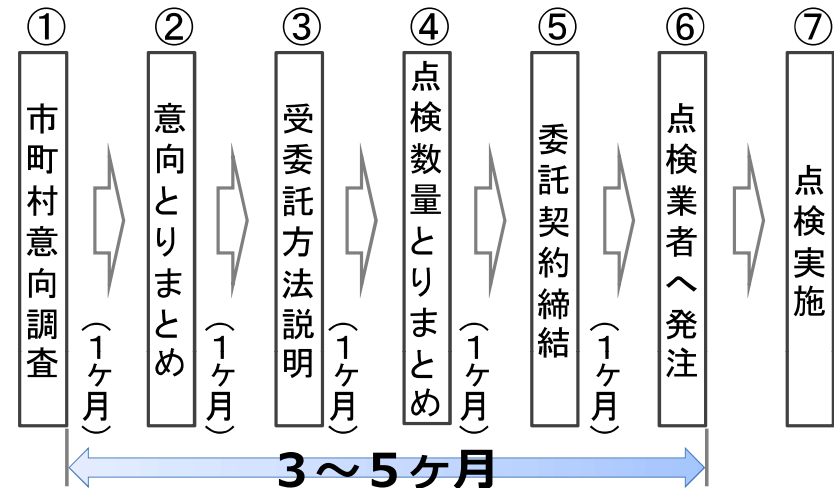
## 【イメージ図】

- 市町村のニーズを踏まえ、地域単位での点検業務の一括発注等の実施



## 【手続きの流れ】

- 国、都道府県にて市町村の意向調査を実施し、点検数量をとりまとめた上で、点検業者へ発注



【愛知県】 地方公共団体管理の道路橋 H26点検計画

No.1  
H26.9時点

市町村	管理橋梁数 (A)	H26点検予定橋梁数		点検率 (A)/(B)
		(B)	うち一括発注	
愛知県	4,722	870	-	18%
名古屋市	931	25	-	3%
瀬戸市	304	0	調 整 中	-
春日井市	314	30		10%
小牧市	513	264		51%
尾張旭市	75	0		-
豊明市	99	0		-
日進市	86	19		22%
北名古屋市	81	0		-
清須市	60	46		77%
東郷町	89	0		-
長久手市	47	0		-
豊山町	17	0		-
一宮市	941	0		-
犬山市	316	9		3%
江南市	193	7		4%
稲沢市	827	0		-
岩倉市	123	0		-
大口町	84	0		-
扶桑町	84	7		8%
津島市	483	0		-
愛西市	630	0		-
弥富市	593	29	5%	
あま市	435	414	95%	
大治町	60	51	85%	
蟹江町	104	23	22%	
飛島村	103	103	100%	
半田市	107	0	-	
常滑市	168	0	-	

注) 本数値は、H26年9月時点で愛知県道路メンテナンス会議が調査取りまとめたものであり、今後変更されることがあります

【愛知県】 地方公共団体管理の道路橋 H26点検計画

No.2  
H26.9時点

市町村	管理橋梁数 (A)	H26点検予定橋梁数 (B)		点検率 (A)/(B)
			うち一括発注	
東海市	111	104		94%
大府市	186	0		-
知多市	137	0		-
阿久比町	85	0		-
東浦町	70	17		24%
南知多町	233	65		28%
美浜町	110	20		18%
武豊町	95	31		33%
岡崎市	933	34		4%
西尾市	1,279	98		8%
幸田町	281	0		-
碧南市	184	53		29%
刈谷市	245	0		-
安城市	519	0		-
知立市	72	0		-
高浜市	38	0		-
豊田市	1,201	210		17%
みよし市	62	0		-
新城市	737	1		0%
設楽町	243	0		-
東栄町	112	80		71%
豊根村	83	51		61%
豊橋市	1,324	76		6%
豊川市	693	35		5%
蒲郡市	309	0		-
田原市	641	0		-
市町村計	17,850	1,902		11%
愛知県計	22,572	2,772		12%

調

整

中

注)本数値は、H26年9月時点で愛知県道路メンテナンス会議が調査取りまとめたものであり、今後変更されることがあります

# 新しい点検要領に沿って点検を開始する地方公共団体における 橋梁定期点検の優先順位の考え方(案)

	対 象	備 考
<p>最優先</p> <p>(建設後年数や点検記録の有無によらず、直ちに点検に着手すべきもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急輸送道路を跨ぐ<u>跨道橋</u> / <u>跨線橋</u></li> <li>・<u>緊急輸送道路を構成する橋梁</u></li> <li>・既往損傷がある、著しい損傷がある等、<u>緊急的に点検が必要な橋梁</u></li> </ul>	
<p>優先度高</p> <p>(地域の実情に応じて優先的に点検に着手すべきもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>建設後相当年数(築約50年以上)経過している橋梁</u></li> <li>・<u>建設年次不明および建設後一度も点検していない橋梁</u></li> <li>・<u>主要幹線道路(注)を構成する橋梁</u></li> <li>・<u>重交通が多いことや環境状況が厳しい等早期に点検が必要な橋梁</u></li> </ul>	
一	・その他上記以外の道路	

(注)主として、地方生活圈および主要な都市圏域の骨格を構成する道路、地方生活圈相互を連絡する道路や主要地方道(緊急輸送道路を除く)など、道路管理者の判断による



【愛知県】 高速道路・直轄国道・鉄道を跨ぐ点検対象橋梁

No.1  
H26.9時点

自治体	管理橋梁数	高速道路・直轄国道・鉄道を跨ぐ		
		高速道路を跨ぐ	直轄国道を跨ぐ	鉄道を跨ぐ
愛知県	4,722	4	21	86
名古屋市	931	7	10	33
瀬戸市	304			1
春日井市	314	2	2	3
小牧市	513	4		2
尾張旭市	75	1		
豊明市	99		1	2
日進市	86		1	1
北名古屋市	81			
清須市	60			
東郷町	89		1	
長久手市	47	1		
豊山町	17			
一宮市	941			
犬山市	316			4
江南市	193			
稲沢市	827			3
岩倉市	123			
大口町	84			
扶桑町	84			
津島市	483			
愛西市	630			
弥富市	593			1
あま市	435			
大治町	60			
蟹江町	104			1
飛島村	103			
半田市	107			1

【愛知県】 高速道路・直轄国道・鉄道を跨ぐ点検対象橋梁

No.2  
H26.9時点

自治体	管理橋梁数	高速道路・直轄国道・鉄道を跨ぐ		
		高速道路を跨ぐ	直轄国道を跨ぐ	鉄道を跨ぐ
常滑市	168			1
東海市	111		1	2
大府市	186		1	6
知多市	137			
阿久比町	85			
東浦町	70			
南知多町	233			
美浜町	110			2
武豊町	95			5
岡崎市	933	13		6
西尾市	1,279			
幸田町	281		3	1
碧南市	184			1
刈谷市	245			2
安城市	519			
知立市	72		2	1
高浜市	38			1
豊田市	1,201	7	12	21
みよし市	62	4	1	
新城市	737			1
設楽町	243			
東栄町	112			
豊根村	83			
豊橋市	1,324	1	6	4
豊川市	693	7	4	3
蒲郡市	309			5
田原市	641			
市町村計	17,850	47	45	114
愛知県計	22,572	51	66	200

### 3) 道路メンテナンス関係研修等について

- 橋梁等構造物の定期点検に関して、必要な知識と技能を習得するため、自治体向けの「道路構造物管理実務者研修」を計画。平成26年9月から公募開始し、平成27年1月下旬～2月に名古屋で実施。
- さらに、愛知県内でも4地域ごと（尾張南・北部、三河東・西部）に、現地の橋梁で自ら点検・診断・記録する「現場点検研修」を予定。

# 道路メンテナンス関係研修等について

## 研修1. 定期点検要領説明会 実施済

(9/3 静岡、9/16 三重、9/18 岐阜、9/19 愛知)

- ・目的:自治体職員にメンテナンス概要を周知すること及び点検のマネジメントの必要性について意識付けを図る。(自治体へのキックオフ)
- ・方法:各県道路メンテナンス会議毎の定期点検要領に係る説明会
- ・対象:管内157自治体職員(直轄職員も参加可)

→研修1参照

## 研修2. 道路構造物管理実務者研修(1月下～2月下)

(橋梁初級 I (5回開催予定)、トンネル(1回開催予定))

- ・目的:中部地整の正規研修として、構造物の定期点検に関して、最低限必要な知識と技能を習得させる。(自ら点検できるようになる)
- ・方法:道路構造物管理実務者研修(全国共通)
- ・対象:管内自治体職員+直轄職員
- ・場所:中部技術事務所

→研修2参照

## 研修3. 現場点検研修(10月以降、随時開催予定)

- ・目的:点検実務について現地で体験し、実感して、スキルを身につける。
- ・方法:各県道路メンテナンス会議における現地点検講習会
  - ①現地点検体験
  - ②ミニ講習会
- ・対象:管内自治体職員

→研修3参照

## 研修1. 定期点検要領説明会 開催概要

	説明会	参加者		備考
		人数(人)	自治体 (参加/全体)	
愛知県	9月19日	約120名	54／54	県外より出席： 桑名市、木曾岬町、伊 那市、飯田市、南木曾 町

平成26年 9月25日

国土交通省中部地方整備局 道路部

## 道路施設点検技術者を養成します！

～自治体支援のため200人規模の研修計画を策定～

### 1 概要

橋梁、トンネル等の点検は、5年に1回、近接目視を基本とする道路法施行規則が7月1日より施行されました。

しかし、全国の橋梁の約7割を管理する地方自治体では、町の5割、村の7割で橋梁保全業務に携わる土木技術者がいないなど、老朽化対策を進める上で技術者不足が課題となっています。

また、各県道路メンテナンス会議が行ったアンケートでは、市町村の9割以上が研修の実施を求める声強いのが現状です。

これら状況を踏まえ、中部地方整備局では、技術者不足が指摘されている地方自治体への技術的支援の一環として、今般、『道路構造物管理実務者研修』（橋梁初級Ⅰ）（トンネル）を以下の通り計画しました。

橋梁初級Ⅰの養成目標人数（研修の規模）は、200人であり、この目標は、中部地整管内の各市町村から1名以上、県政令市から5名以上の研修員を受け入れる枠を確保したものです。

今年度を含めた3年間で延べ600人の研修員を集中的に養成することで、道路インフラの確実な維持管理を実行していく予定です。

○研修日時：平成27年1月下旬～2月（詳細は別紙）

○研修場所：国土交通省中部地方整備局中部技術事務所 研修所  
〒461-0047 名古屋市東区大幸南一丁目1番15号

2. 配布資料：別紙、研修内容 及び参考資料

3. 配布先：中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、飯田市役所記者クラブ、伊那市役所記者クラブ、駒ヶ根市役所記者クラブ、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ、木曾合同庁舎記者室

4. 解 禁：指定なし

5. 問合せ先：国土交通省中部地方整備局

道路部 道路管理課 道路構造保全官  
電話 052-953-8176

すずき やすよし  
鈴木 康芳  
FAX 052-953-9208

## 研修内容

**橋梁初級 I** 対象構造物：道路橋、シェッド・大型カルバート等、横断歩道橋、門型標識等

目的：構造物の定期点検に関して、最低限必要な知識と技能を習得する  
(自ら点検できるようになる)

対象者：管内自治体職員＋直轄職員

人員：自治体職員定員 40 人

内容：●座学 ①概論・点検一般（橋の構造の基本、点検法令体系等）  
②損傷・診断（鋼部材、コンクリート、下部構造等の損傷と診断）  
③付属物（標識、照明施設、横断歩道橋等の点検要領概論）  
④土工（土工構造物、シェッド、大型カルバート等の点検要領概論）  
●現場実習（橋梁、土工部における点検の現場実習、体験）

期間その 1 : H27. 1. 26(月)～H27. 1. 29(木) 4 日間

期間その 2 : H27. 2. 2(月)～H27. 2. 5(木) 4 日間

期間その 3 : H27. 2. 9(月)～H27. 2. 13(金) 4 日間 ※途中祝日有

期間その 4 : H27. 2. 16(月)～H27. 2. 19(木) 4 日間

期間その 5 : H27. 2. 23(月)～H27. 2. 26(木) 4 日間

**トンネル** 対象構造物：道路トンネル

目的：構造物の定期点検に関して、最低限必要な知識と技能を習得する  
(自ら点検できるようになる)

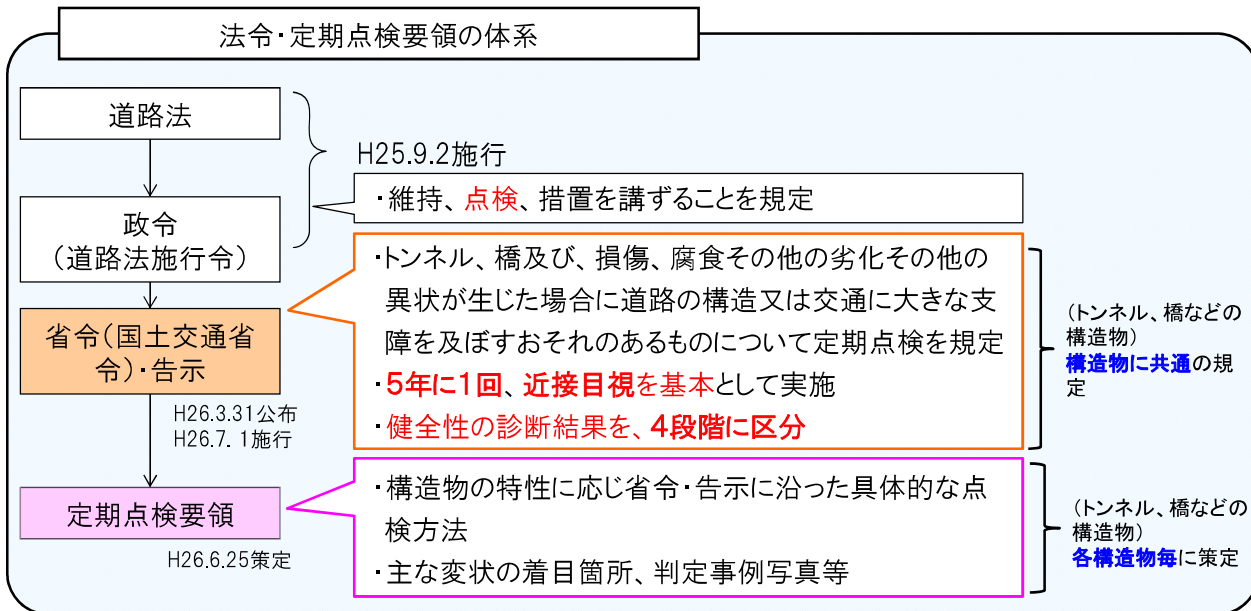
対象者：管内自治体職員＋直轄職員

人員：自治体職員定員 40 人

内容：●座学 ①概論・点検一般（トンネル点検概要、点検法令体系等）  
②トンネル（点検方法、調査方法、付属物の点検、補修・補強の考え方等）  
●現場実習（トンネルにおける点検の現場実習、体験）

期間：H27. 1. 19(月)～H27. 1. 21(水) 3 日間

- ① 省令・告示で、**5年に1回、近接目視を基本とする点検を規定、健全性の診断結果を4つに区分。**  
(トンネル、橋などの**構造物に共通**)
- ② 市町村における円滑な点検の実施のため、**点検方法を具体的に示し、主な変状の着目箇所、判定事例写真等**を加えたものを**定期点検要領**としてとりまとめ。(トンネル、橋などの**構造物毎**)



7. 22 定期点検要領等説明会(於:国土交通省)資料

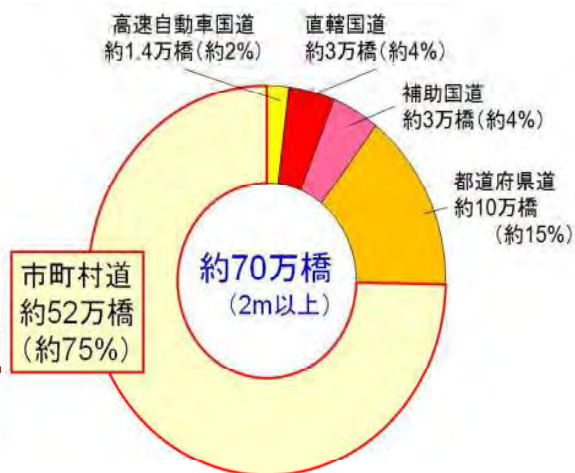
## 管理者別の道路延長と橋梁数

全国約70万橋の橋梁のうち、7割以上となる約50万橋が市町村道

【日本の道路種別と延長割合】



【道路種別別橋梁数】

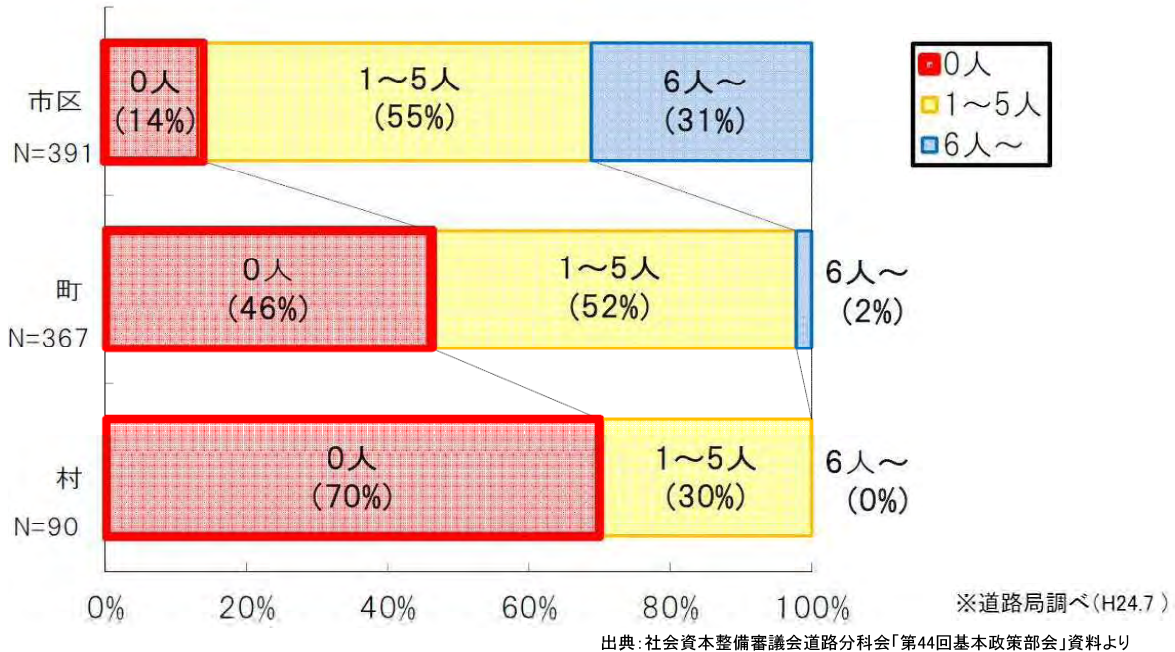


※道路局調べ (H25.4)



町の約5割、村の約7割で橋梁保全業務に携わっている土木技術者が存在しない

■市区町村における橋梁保全業務に携わる土木技術者数

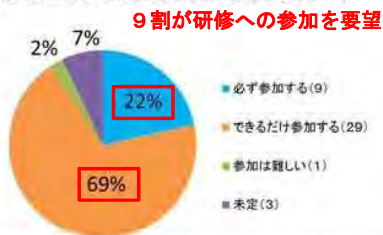


各県道路メンテナンス会議のアンケート結果（研修）

中部地整管内の市町村の9割以上が研修実施を要望

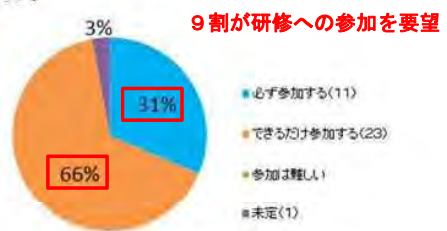
○岐阜県

Q.岐阜県道路メンテナンス会議で、各自自治体は研修への参加についてどのようにお考えでしょうか。



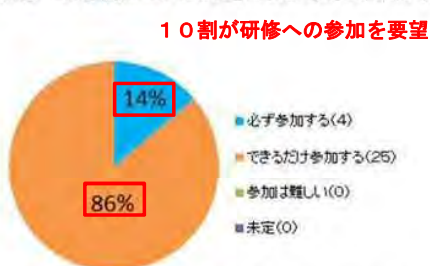
○静岡県

Q.道路メンテナンス会議では、研修制度の拡充について検討しますが、研修への参加についてどのようにお考えでしょうか。



○三重県

Q.三重県道路インフラメンテナンス協議会主催の研修において、研修への参加についてどのようにお考えでしょうか。



○愛知県

Q.道路メンテナンス会議では研修制度の拡充について検討しますが、研修への参加についてどのようにお考えでしょうか。



出典: 各県道路メンテナンス会議アンケート結果より

## 愛知県道路メンテナンス会議主催 現場点検研修 予定

愛知県 地域区分	現場点検研修 日程			備 考
	研修案内	現場点検研修	内容	
尾張北部	11月中旬	12月中旬	座学＋現場	・10～16時(予定)
尾張南部	11月中旬	12月中旬	座学＋現場	・10～16時(予定)
三河東部	11月中旬	12月中旬	座学＋現場	・10～16時(予定)
三河西部	11月中旬	12月中旬	座学＋現場	・10～16時(予定)

### ～点検のポイントを学び、自ら点検、記録する～

#### 【座学】

#### 点検のポイント、着眼点を学ぶ

- ・点検要領について
- ・橋梁点検のポイント

#### 【現場】

#### 現地橋梁にて自ら点検診断、記録する

- ・対象橋梁の説明(台帳等)
- ・点検実習(班ごと)
- ・点検、診断結果まとめ